

みんなの

# 市議会

特集・議会を傍聴して	1・2
第3回9月定例議会概要	3
第3回伊達市議会臨時会概要	4
一般質問	5~7
委員会報告	7・8
行政視察報告	9・10
23年度決算について	11・12
編集後記 他	13

## 国保会計へ繰り出し 4億6,628万円余—23年度末累積赤字解消へ

市指定記念樹（末永町のイチョウ）維持に125万円余

第69号  
2012.11.1



伊達神社祭典

### 特集・第2弾！

議会を傍聴して  
菊地 裕子さん

9月議会を傍聴して頂き、  
感想とご意見を伺いました。



# 特集

## 第2弾

### 議会を傍聴して

第一回田は、教育委員・民生委員の菊地裕子さんに九月議会を傍聴して頂き、その後、口をおりために感想と意見を伺いました。

●は菊地裕子さん ◎は議会広報委員

#### ◎議会を傍聴された感想は?

●以前は議場のある四階はたぱりの煙のにおいが充満していましたが、いまはそれがなくクリーンなイメージになりました。

議場では一日田、音響が聴きにくかったのですが、すぐに対応して頂いた。田は大変聴きやすくなりました。

議会の感想は、市長さんは行政の方々と議員さんが熱心に議論しあう姿で、より良い伊達市にするための意気込みが感じられ、同時に、お互ひの立場を尊重しながら議論されていることに神聖な感じを受けました。議員さん全員が、国の様々な制約などを理解したうえで行う議論は、効果的でとても参考になりました。また、これまで一票を入れた議員さんに任せてしまふという意識がありましたことを傍聴しながら反省しました。

前列に座っている議員さんが見ると、ができないのは残念でしたが傍聴席がせり出しているため仕方がないのですね。

#### ◎興味があつた題材はありましたか?

●指定管理者制度は興味をもちました。

丸投げというのも基本的にはよくなじむと思いました。私はこの制度のもとで当然な管理がされていると思っていましたが、議員さんはさすがに深く掘り下げて調べておられますね。サービスが大事な社会になってしまっている中で、苦情などのチェック体制がきちんとできていればよいと思いました。

#### ◎「みんなの市議会」について、感想や意見はありますか?

●次回の議会開催日が記載しているので、市民のみなさんは、これを見て傍聴に来る」とができますし、議員さん方がどのような質問をしているのか、議会の内容を紙面を通して知ることができます。初めておもいます。

#### ◎住まわれていて伊達市をどう思いますか?

●「郷土愛」と言いますか、私を育んでくれた街ですか、好きです。

伊達は、おいでおいでと口で言いながら手では来ないで、というシエスチャーをしていると言わますが、私は決してそうではないと思いました。他の市町村から移住していらっしゃった方に積極的に地域のあまやまな「ミミ」ティに関わっても

らえたなじむこと思います。そのたぬいせいの側が、最初はやつ過むるくらじ積極的に関わつた方がいいと思いますね。

#### ◎伊達の良いといふことは、どう思われていますか?

●以前、旭川在住の知人(井上靖記念館、ナナカマドの会の会員)から、仲間とバスで行くから伊達の街を案内してほじりと頼まれたことがあります。宮尾登美子文学記念館、伊達市百年の樹、大雄寺、そして伊達邦成公の命を受け、家臣佐藤修亮が地名を入れて詠んだ歌碑を巡りました。十月下旬でしたので、バスが市役所通りに入り街路樹の柿の木にオレンジ色の実がたくさん見えた時、バスの中に大歓声がわき起きました。

「伊達市内の小ツアーカー」の案内を通して、伊達市の魅力をあらためて他市の方から教えていただいたという思いがしました。そういう意味で開拓記念館も伊達市の歴史の主軸として大事にしなければならないと思いました。



◎伊達市に期待されるトピック

●今の社会状況では大変難しい問題だと思ってますが、若い人の仕事がわざわざあるからかと思っています。

○菊地わさは民生委員としての立場でお話を聞かせて頂けますか？

●民生委員の制度ができる九十五年にもなりますので制度そのものが社会の変化に適応していないと感じます。あります。

●民生委員には定年制がありますが、いくつになつても担つて頂けるなら続けていただけたらいふと思います。また、活気あふれる民生委員会になるためにも、子育てが終わった若い世代の方に民生委員をやつていただきたいと期待します。

○若い人が民生委員を担えない理由はありますか？

●民生委員の仕事は一言でいふと、住民と公的機関のパイプ役ですが、そのため開かれる会議研修が多く、担当地区の見守りもかかせません。

●会議の出席率も決められており、開催日程の問題もありますから、仕事をしている方はなかなか出でられないようです。

○今、社会問題として生活保護世帯の増加が

あります。生活保護に関する仕事も民生委員の大きな仕事のひとつですが、実際に活動する中で感じておられることがありますか？

●他市の話ですが、小学校の先生が児童に将来どんな仕事がしたいかと質問した時、「仕事をしなくとも親のように生活保護をもらえばいい」と答えた児童がいたという話を新聞で読んだとき、心が寒くなるような思いがしました。

●働くことを大前提として、収入の少ない人に対して（収入を）補うところシステムがあればいいと思います。社会の変化に合わせた制度を作つて、社会参加する人とのモチベーションを上げるようなども必要でしようね。

○何でも頼みながら社会参加意識を持たせることが大事だと思いますか？

●男女共同参画の時代ですから女性議員は必要だと思います。老若男女それぞれの視点で議論が進められることがいいと思います。何事もそうですが、バランスが大事ですね。

○今日のお話しは参考になりました。これからも、議会と民生委員さんとの意見交換の場を設けては感じましたが、いかがですか？

●それはこうですね。是非そういう機会を作つてください。

○本日はありがとうございました。

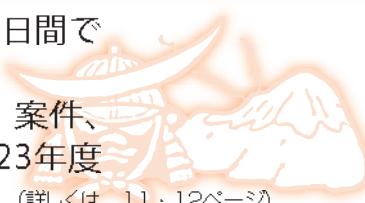
民生委員  
菊地裕子さん



# 第3回 9月定例議会概要

平成24年第3回定例会は、9月6日から9月20日までの会期15日間で開催されました。

今定例会に提出された議案は、市長提出議案10案件、認定1案件、報告1案件で、いずれも原案のとおり可決しました。また、平成23年度各会計歳入歳出決算が上程され、各決算委員会に付託しました。(詳しくは、11・12ページ)



## ◎総務文教常任委員会付託議案 (詳しくは7ページを参照して下さい)

### 議 案

- 財産の無償譲渡について
- 伊達市防災会議条例及び伊達市災害対策本部条例の一部を改正する条例
- 大滝集出荷所条例を廃止する条例

## ◎産業民生常任委員会付託議案 (詳しくは8ページを参照して下さい)

### 議 案

- 市道の路線の認定について

## ◎平成24年度一般会計補正予算詳細

### 議 案

- 歳入歳出にそれぞれ**7億1,644万6千円**の増額補正をしました。補正をした主な事業概要は下記のとおりです。

事 業 名	予 算 額	事 業 概 要
"いぶこん" グルメフェスタ in 伊達開催事業補助金	20万円	市民相互の交流および地産地消による地域活性化を目的に、男女の出会いの場を創出する「いぶこん」と伊達産食材を使用した料理を提供する「グルメフェスタin伊達」を同時開催する実行委員会に対し、開催に係る費用の一部を補助する。
もしかしてネット推進事業	39万6,000円	高齢者地域見守り活動の一環として、昨年8月末にスタートした「伊達市における事業者協力による高齢者等地域見守り活動(もしかしてネット)」の更なる拡大推進とPRのため、ステッカー等を作成する。
予 防 接 種 経 費	629万8,000円	従来の経口生ポリオワクチン投与を、不活化ポリオワクチン接種に切り替えることとなったため、市内の医療機関での個別接種が行えるようワクチンの購入等を行う。また、11月1日から導入する四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ)ワクチンについても購入する。
農業後継者 花嫁対策事業補助金	60万円	独身後継者・経営者の配偶者対策は非常に深刻な問題となってきていくことから、経営面積の規模縮小の防止や営農意欲の向上を目的とした、農業経営者花嫁対策事業に対し、その経費の一部を補助する。
長芋選果機等 整備事業補助金	2,954万2,000円	管内での長芋の生産拡大を図るため、とうや湖農業協同組合が実施する老朽化による選果機等の更新事業に対し、強い農業づくり交付金ならびに管内長芋生産市町の受益面積割による上乗せ分をあわせて補助する。
指定文化財維持管理費	125万6,000円	末永町にある伊達市指定文化財第16号(記念樹)のイチョウの樹が、根元部の腐朽により枝が偏っていることから、強風による倒伏や枝の落下による危険性が懸念されているため、その剪定を行う。
国民健康保険 特別会計繰り出し金	4億6,628万4,000円	平成23年度末の累積赤字過去9年分について、一般会計から補てんすることにより解消。

## ■ 第3回 9月定例議会で可決された意見書

- 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書
- 自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書
- 中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書
- 税制全体の抜本改革の確実な実施を求める意見書
- 気象事業の整備拡充を求める意見書
- 「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書

## ■人事案件について市長提案に同意しました。

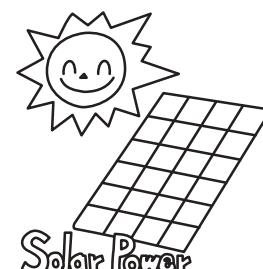
- 教育委員会委員の任命…早瀬芳宏氏

# 第3回 伊達市議会臨時会概要

平成24年第3回臨時会が、8月1日開催されました。

## ■ 提出された議案は、

- 平成24年度伊達市一般会計補正予算  
6,810万円を減額し、補正後の総額は174億4,084万6,000円



## ■ 補正をした事業概要

- 農地利用集積円滑化事業  
予算額 △6,810万円
- 事業概要

当該事業は、国の東日本大震災農業生産対策交付金事業を活用するものであるが、要綱の改正により補助メニューが変更され、当初、本市でパイプハウスを購入、建設することとした事業の一部が生産者リース事業方式に変更となったことから、これに対応すべく必要な予算の組替、減額を行う。

## ■ 行政報告

伊達市メガソーラー設置運営事業に係る事業者(株)大林クリーンエネルギー(株)大林組100%出資による現地法人の決定について、これまでの経緯や事業概要について報告を受けました。



視察項目	岩手県	愛知県	広島県	福岡県	栃木県	北海道	岡山県	宮城県	大阪府
保育所民営化 合併後のまちづくり 新市建設計画、市町村	堆肥センター	イフモビリティサービス	ウエルシーランド構想ラ	次世代エネルギーパーク 緊急雇用創出推進事業	亘理町いちご農家	遠野市議会	大島議会	鹿沼市議会	笠岡市議会

視察項目	岩手県	愛知県	広島県	福岡県	栃木県	北海道	岡山県	宮城県	大阪府
保育所民営化 合併後のまちづくり 新市建設計画、市町村	堆肥センター	イフモビリティサービス	ウエルシーランド構想ラ	次世代エネルギーパーク 緊急雇用創出推進事業	亘理町いちご農家	遠野市議会	大島議会	鹿沼市議会	笠岡市議会

来訪議会

平成24年8月1日から  
平成24年10月31日まで

行政視察の  
受け入れ状況

## 平成24年 第3回定例会

## 一般質問



9月12日㈭・13日㈮

(質問・答弁は質問者本人がまとめたものです)

いる品種の試験栽培や、新規就農者、また、高齢者、障がい者にも対応し、農作業訓練や実習が出来る施設としていく。

答

問

昨年設置したい  
栽培をするが、今後  
は就農者が生産を考えて  
います。いちご中心の試験  
栽培をするが、今後  
栽培と今後のハウス利  
用を問う。

いちご用パイプハウ  
スでの、いちご以外の  
栽培と今後のハウス利  
用を問う。

菊地清一郎 議員  
市民クラブ

答

問

促進を図る。②方向  
として、今タイミングか  
もしれないでの検討する。  
③PR事業は大切と認識  
している。民間業者とも是  
非話し合い対応を考える。

十  
一haだが、高齢化  
が進んでいるため、年度  
内に詳細を確認し、有効化  
活用するための手法、方  
向性を検討する。

答

大滝区の林業振  
興対策で、①唐松材の利用促進②補助金制度創設提案③PRと  
して、市独自の構造展示や見学会開催を問う。

アンケートでは三  
十  
一haだが、高齢化  
が進んでいるため、年度  
内に詳細を確認し、有効化  
活用するための手法、方  
向性を検討する。

市内耕作放棄地  
の面積と、今後の  
対策や手法、展望を問  
う。

問

答

交換や全体の考え方  
を聞いていきたい。

問

答

口コミセンの運営  
管理が長和方式に統一されたが、開館時間や雇用条件などで問題が指摘されている。

答

問

指定管理者制度導  
入から十年が経過し、問題や課題を指  
定管理団体と協議する  
べきではないか。考え  
を問う。

問

答

施設の現状を伺い、  
各コミセンの共通認  
識としてどうしていくべ  
きか協議したい。

問

答

市がフォローしていくべきだ。  
市がフォローしていくべきだ。  
市がフォローしていくべきだ。  
市がフォローしていくべきだ。  
市がフォローしていくべきだ。  
市がフォローしていくべきだ。

答

問

答

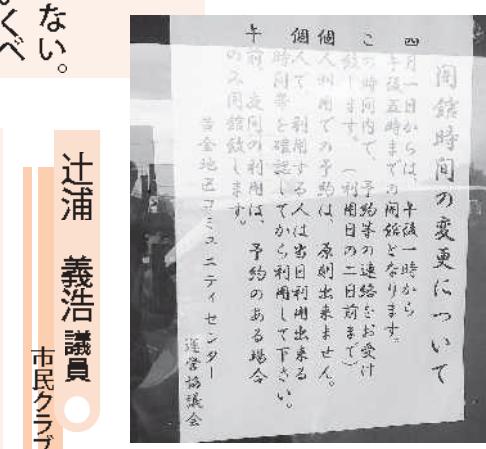
問

答

問

答

実態は調査するが、自助  
・共助・公助とい  
う視点でどうする  
かということでは  
ないか。



林業の振興を担う胆振西部森林組合(大滝区)

答

問

その他他の質問  
・公共料金の口座振替日  
の統一について

問

答

伊達市連合自治  
会協議会について  
は、七〇%になつて

答

問

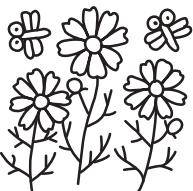
災害時の避難収容  
人員は、カルチャーセンターが四二〇名で、  
総合体育館は六〇〇名以上  
の収容ができる。だて  
歴史の杜内、遊歩道につ  
いては、散歩時や、車い  
すなどが通りやすいよう  
に、今後検討する。

問

答

辻浦 義浩 議員  
市民クラブ

開館時間等が変更された各コミセン



さて歴史の杜公園内遊歩道

● その他の質問  
・まちづくりへの市民参

いる。未加入者や転入者へ加入啓発を行っている。さまざまな分野で行政との連携や自主的活動により公共の担い手として大きな役割を果たしている。今後、連合自治会協議会との連携を密にし、課題や問題点の解決に向けて互いに協力していく。

● その他の質問  
・市道泉通り線（伊達市）  
靈園への道路について

答　まず、がんに関する情報を一元化してホームページなどで発信できるよう情報を整理する。

問　旭町都市下水道の明渠部分の淀み防止策について問う。



淀み防止策が望まれる旭町都市下水道

答　防災訓練は学校安全マニュアルに基づき実施している。津波から命を守るライフジャケットとヘルメットについて検討したい。

小久保重孝 議員  
市民 21

問　がん対策について今年施行された北海道がん対策推進条例をどう受け止めているか問う。

答　国のがん対策推進基本計画や北海道がん対策推進計画に沿ってがん予防と早期発見に全力で取り組む。

原見 正信 議員  
公明党



写真は岩波書店「がん患者、お金との関係」表紙

加の効果について開拓記念館老朽化対策と黎明観の活用についての取り組みについて

答　水門に改良を加えて海藻の逆流を少なくするとともに、満潮と波浪が重なる時には現地を確認し、適宜に水路清扫を行い、淀みによる海藻類の堆積を防止していく。

問　通学路の安全対策について問う。

答　道路管理者並びに警察において、舗道の整備や横断歩道の設置など安全対策実施の可否について検討し、関係機関に早期に対策を講じるよう要望していく。

大光 嶽 議員  
公明党

問　JR伊達紋別駅構内の自由通路建設に伴う同駅との一体化とバリアフリー化を問う。

答　駅構内の階段移動はお年寄りや障がい者には辛いことから、エレベーターの設置等を含めた駅のバリアフリー化を検討している。更に老朽化した駅舎も駅業務のあり方を含めJR北海道と協議を開始した。

問　小中学生の防災教育と津波発生避難時のライフジャケット、ヘルメットの常備について問う。

答　防災訓練は学校安全マニュアルに基づき実施している。津波から命を守るライフジャケットとヘルメットについては検討したい。



**問** 小中学校トイレの洋式化の促進について問う。

**答** 洋式トイレが一般的な設備として家庭に広く普及しているため、各学校とも十分協議の上その普及に努める。

**問** 老朽化が進んでいる伊達小学校グラウンドのパックネット等の整備について問う。

**答** パックネットは鉄骨の腐食やコンクリート部分の欠落など老朽化が進んでいる。学校側とも協議し、早急に対応整備したい。

## 委員会報告

総務文教常任委員会  
委員長 国本一夫

■「財産の無償譲渡について」

大滝集出荷所が用途廃止になった後はどうや湖農業協同組合へ集出荷所及び付帯施設等を無償譲渡することについて、地方自治法第九十六条第一項に基づき、議会の議決を求めるもの。

**質疑** ▶ 総敷地面積二、七一四・一五坪のうち、七八二・六坪は伊達市の土地であるが、市の土地についてはどうや湖農業協同組合へ無償貸付する方針である。

**質疑** ▶ 建物の残存価値はいくらになるのか。また、

**審査の中では、**

**質疑** ▶ 建物の譲渡に伴い、底地はどうようになるのか。

**答弁** ▶ 総敷地面積二、七一四・一五坪のうち、七八二・六坪は伊達市の土地であるが、学校の老朽化が進んでいる。学校側とも協議し、早急に対応整備したい。

建物を譲渡する際には、どのような手続きがあるのか。

**質疑** ▶ 防災組織に自主防災組織を構成する者は学識経験がある者を市長が任命することができるという一部改正に対する手続として、国に対し「長期利用財産処分報告」を提出し、了承を得なければならぬが、九月七日付けの書面で了承される見込みである。

**答弁** ▶ 残存価値は、一般財源ベースで四、六五四万三、七九九円である。また、手続きとしては、国に對し「長期利用財産処分報告」を提出し、了承を得なければならぬが、九月七日付けの書面で了承される見込みである。

などの質疑・答弁があり審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

■「伊達市防災会議条例及び伊達市災害対策本部条例の一部を改正する条例」

災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴う伊達市防災会議条例及び伊達市災害対策本部条例の所要の改正について、議会の議決を求めるもの。

**質疑** ▶ 総敷地面積二、七一四・一五坪のうち、七八二・六坪は伊達市の土地であるが、市の土地についてはどうや湖農業協同組合へ無償貸付する方針である。

**質疑** ▶ 建物の残存価値はいくらになるのか。また、

**審査の中では、**

**質疑** ▶ 建物の譲渡に伴い、底地はどうようになるのか。

**答弁** ▶ 総敷地面積二、七一四・一五坪のうち、七八二・六坪は伊達市の土地であるが、学校の老朽化が進んでいる。学校側とも協議し、早急に対応整備したい。

市長が任命することが可能であると、伊達市全体の自治会単位で半分にも満たない状況では、あまり効果が期待できないのではないか。

建物を譲渡する際には、どのよだん手續があるのか。

**質疑** ▶ 「財産の無償譲渡について」に関連し、現在、どうや湖農業協同組合が指定管理者となつていて、大滝集出荷所について、施設内の長芋選果機更新

**■「大滝集出荷所条例を廃止する条例」**

などの質疑・答弁があり審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

以上の付託されました三案件は、全員一致で可決すべきものと決定しました。

審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。



大滝集出荷所

## 産業民生常任委員会

委員長 原見 正信

■ 「市道の路線の認定について」

(館山一号線 館山町一一一・二六から館山町一一一・三四までの一三一・九m)

道路法の規定により市道の路線の認定について、市議会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑▼現地付近は交通量が多く、公道と接する交差点は左右確認しづらいと思われるが、交通安全上の対策が必要ではないのか。

答弁▼出入り口の視認しづらいところは、家屋の状況を考慮し、必要に応じてカーブミラー設置等の措置をとっていく。

質疑▼道路で事故が起きた場合の保険の適用について、市道の認定を受ける前と後では補償の取り扱いは変わらぬか。

答弁▼今回の開発行為は五月二十五日に完了しております、その翌日から市の管理となるので、保険の適用も可能である。

質疑▼完了検査を行う市の担当者はだれなのか、また、今回の検査で問題などほかなかつたのか。

答弁▼完了検査は建設課長が行い、現地において寸法確認等を行つた。今回は異常なしで、検査は終了した。

質疑▼市道の道路幅員は八mで、歩道幅員は一・五mと一mとなつていて、が、排水溝の設置はどうようになつてゐるのか。

答弁▼今回の開発行為による道路の造成に伴う排水溝は、警察側の歩道の縁石の下に排水管を設けてある。また、排水口は二十～三十mに一箇所配置している。

などの質疑・答弁があり審査の結果、本案件は妥当なものと認められました。

以上、付託されました案件は、全員一致で可決

すべきものと決定しました。

てゐる西浜・館山下地区の避難訓練について調査を行いました。

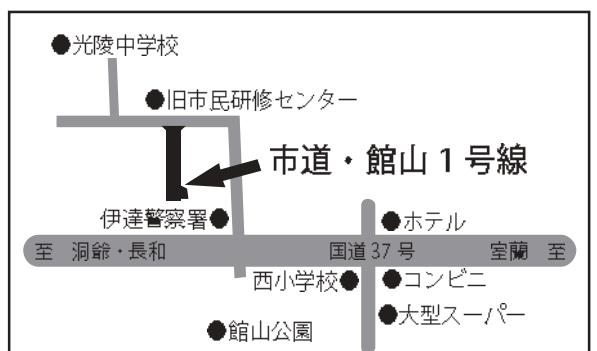
## 総務文教常任委員会

◆ 所管事務調査報告  
委員長 国本 一夫

《九月十四日金》

◆ 地域防災対策の今後の進め方について

平成二十五年四月修正予定の地域防災計画について説明を求め、屋外拡声器の設置の考え方や十月十五日に実施が予定され



◆ 伊達市公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例施行規則の一部改正について

改正内容について説明を求め、公募によらない場合の指定管理者の募集基準について調査を行いました。

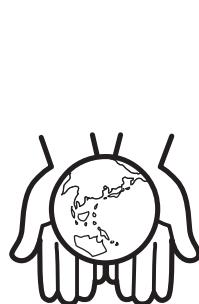
◆ 水道施設及び老朽管の現状と更新計画について

伊達市水道事業の課題を抽出し、具体的な施策を実施できるよう策定した伊達市水道ビジョンの中で重要な課題として位置付けられている老朽施設の更新について、水道施設及び管路の現状と耐用年数、更新計画の基本方針と検討すべき事業などをについて調査を行いました。

《八月二十七日月》

◆ 次世代エネルギー・パクについて

伊達市が本年一月に、新エネルギー設備や施設などを整備した地域として、経済産業省資源エネルギー庁より認定を受けた次世代エネルギー・パークについて、事業の取り組み状況と計画の概要及び、今後の課題について調査を行いました。



**市民クラブ**

○**参加者**  
滝谷 昇、山田 勇、阿部正明、篠原一寿、菊地清一郎、辻浦義浩

○**期間**  
平成二十四年七月三日～四日

○**調査場所・目的**  
○留萌郡小平町  
★「タ」箱漁オーナー制度について  
留萌振興局管内の水産物の知名度を上げるために、留萌振興局水産課長が発表

○**留萌市**  
★「るもいコホートピア構想」について  
「コホートピア」は「コホート」と言う医療のため

# 平成24年度 行政観察報告

の研究用語と「ユートピア（理想郷）」を組み合わせた造語。留萌市を中心とする留萌管内の地域住民に対して学術研究の過程並びに成果によって健康と安心をもたらし、また、この果実を大学や企業に活用してもらうことを目的としている。

せることを当面の目標としている。  
活動拠点の「るもい健康新駅」では、健康相談やセミナー等、生活習慣や食生活を改善する取り組みが行われている。

## ★「構造改革医師臨床研修推進特区」について

札幌医大や旭川医大、北大、国立保健医療科学院、留萌市立病院、そして北道、留萌振興局の協力を得て平成二十一年から事業を進めており、特定検診の検診率を上げ、住民の健康を守ることと、留萌市立病院の医師不足を解消し、病院経営を好転させている。

平成十六年から医師の卒後二年間の臨床研修が必修化されたことに伴って全国的な地域医療に従事する医師不足が深刻化した。留萌市は臨床研修の義務化を好機ととらえ、平成二十一年に「医師臨床研修推進特区」の認定を受け、公立病院を対象とした一年を超えて臨時職員を任命可能とする地方公務員法の特例措置により、二年を通じた臨床研修を行い、地域医療の充実を強く認識させ、市民ニーズ変化に的確に答えることができる医師の育成及び確保を図っている。

## 議会改革と活性化

### 元全国都道府県議会議長会

#### 議事調査部長

野村 稔氏が講演＝議員研修会

北海道市議会議長会道南支部議員研修会が10月4日、苫小牧市で開かれ、野村氏から「地方議会の新たな課題～議会改革と活性化～」と題して講演をいただきました。



## 新政クラブ

### ○参加者

吉村俊幸、寺島徹  
上村要、犬塚貴敬  
小泉勇一

### ○期間

平成二十四年七月十日  
～十三日

### ○調査場所・目的

#### ○宮城県大崎市

★「あら・伊達な道の駅」「物産館の管理運営、集客対策、特色」などについて



平成十二年旧岩出山町が物販施設（飲食を含む）を三億八千九百万円で建設したもので、運営は株式会社「池月道の駅」資本金九千八百万円（うち大崎市五千円）に委託、年間売上高十一億一千万円（全国第五位）の道の駅であった。

一、八七六億五、一〇〇万円の復興計画をたて取り組んでいた。

#### ・山元町

震度六強、津波の高さ十二m、町の四〇%（内水田六九%、畑地四五%）浸水。死者、行方不明六、三三名、住宅半壊以上三、三五四棟、一部損壊一、一三八棟、

#### ○亘理町・柴田町・山元町・新地町（姉妹都市・歴史友好都市）

★「東日本大震災による地震と津波による被害状況や今後の復興計画」について

#### ・亘理町

震度六弱の地震と高さ十二・三m以上の津波による被害で、町の面積の四十分八%浸水。死者、行方不明三〇六名、住宅半壊以上三、七三三棟、一部損壊二、四一〇棟。「亘理町震災復興会議」を設立して「防災集団移転促進事業」により災害に強いまちづくりを策定し、三ヶ年で

震度六強、津波の高さ十m、町の二〇%（農地の四〇%）浸水。死者、行方不明二〇名、住宅半壊以上六一五棟の被害。福島原発事故に依る放射能汚染は、他の地区よりは低いが「放射性物質汚染対処特別措置法」に定められている範囲内を目指し、海拔十m以上の地に集落を再建するべく取り組んでいた。

震度五強、地震による被害のみ、電気、電話、上水

・柴田町

震度六強、津波による被害で、町の面積の四十分八%浸水。死者、行方不明三〇六名、住宅半壊以上三、七三三棟、一部損壊二、四一〇棟。「柴田町震災復興会議」を設立して「防

### 他団体会議報告

9月20日



#### (1)伊達・壮瞥学校給食組合議会

- 平成24年6月28日
- 平成24年度第1回臨時会
- 菊池勝義氏の監査委員選任に同意

#### (2)西いぶり広域連合議会

- 平成24年8月24日
- 総務常任委員会
  - 西胆振環境（株）の平成23年度営業概要について
  - 覚書無効確認請求訴訟について
  - 広域連携調査研究項目について
- 平成24年9月3日
- 平成24年度第2回定例会
  - 平成24年度一般会計補正予算を可決
  - 広域連合一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条例制定の件を可決
  - 平成23年度一般会計歳入歳出決算を認定

道は八日間寸断、集中ガスは二十二日間寸断され、公共施設で二十三億五千百万円の被害があり、この被害を教訓に、衛星電話、情報手段、給水など八項目の充実を目指して進めようとしていた。

北海道は、伊達市においても四mから七・二mの津波が襲来する可能性があるとしていた。

との予測を示した。



地区毎の海拔調査、避難場所の確保、防災訓練、防災同報無線の充実等、日頃からの対策を急がねばならないと痛感した。

**歳****市税が予算と比べ****入****約5,000万円増えました。****23年度決算について**

ばこ税1,722万円増、固定資産税928万円増でした。特にたばこ税については、前年の増税によりたばこ価格は大きく値上げとなり、それによって吸う人が少なくなつて、税収も伸びないのではないかという予想でしたが、思っていたよりも禁煙が長続きしなかつたことや価格が定着したことが要因で、結果として前年度決算との比較では3,800万円の増で、当初予算との比較でも1,722万円の増の3億1,600万円となりました。税収としてはありがたいのですが、健康被害は減少していません。引き続き分煙の徹底とマナーの啓発が大事です。

主に増えたのは、市  
民税2,009万円増、た

決算委員会を終えて

### 決算の議会的みどころ

議会での決算審査特別委員会では、決算書による財政的なバランスをチェックすることも大事ですが、なによりも議会が決定した予算各事業がその目的に沿って、きちんと行われているかということを確認することが大事で、各事業の効果の有無を争点に行政側と議論し、継続す

べきかどうか、見直しはないのかなどを詰めていくことで担当者の本音を引き出すところがポイントです。

そうした各事業の効果を考えるという点で、今回は結果としての人数や件数といったものを抽出してみました。

**444** 件

パスポートの発給件数

H23年8月から伊達市でもパスポートの申請ができるようになりました。多くの方から近くで申請できるようになつて便利になったと伺いました。

事務的には作業が増えたので、人員は充足しているかとの問い合わせに専任はおけないので兼務でこなしている。トラブルはないとのことでした。

**120** 円

大滝の二つの無料共同浴場の維持管理費は732万円。利用のべ人数は61,000人。のべ人数で維持管理費を割ると120円となります。地域でボランティアを募つても管理できる人がいないということで以前に比べ管理費が余計にかかりました。財政が苦しくなる前に地域でできることを検討すべきとの意見がありました。

**8%**

カルチャーセンターの維持管理費は1億円。使用料収入は813万円。支出に対する収入の割合は8%。のべで12万人近い利用があるので施設としては有効ですが、管理体制の見直しは一般質問でも指摘されています。

特にトレーニングルームが新しいプールに移るとさらに収入が200万円減額と見込まれています。将来負担も勘案して対策が急がれています。

**3,651** 人

夜間休日等における急病患者の医療確保に3,793万円かかっていて、この年の利用者数が3,651人。うち市民は2,849人。コンビニ受診が社会問題になっていますので、適正に利用されているかという点で確認がありました。

消防による救急出動件数は1,403件で週の内で金曜日の出動が統計的に高くなっています。

**475** 頭

エゾシカの駆除頭数。駆除実績が前年度より1.5倍と上回っているものの農業被害は横ばい。頭数が増えており簡単には減らないとの答弁。

エゾシカ駆除は1頭あたり8,000円。不正受給がないよう管理の徹底を求める意見がありました。被害を受ける農業者による罠(わな)免許取得は39名でした。

**198** 人

市内小学校で実施した「いじめアンケート」の結果。とても高い数字にびっくりしましたが、軽微ないたずらも含めてということで、素直な数字は逆に何でも話してくれる証。

解決しない問題が1件あつたが、現在は解決したとの答弁。議会からは数字では見えない深刻ないじめを見逃さないよつ要請をしました。

**不納欠損****3,269万円**

不納欠損の数字は一般会計と特別会計(国民健康保険、介護保険、下水道、簡易水道)の合計額です。

**滞納・不納欠損について  
対策会議の設置を約束**

決算審査で必ず質問があるのが、不納欠損です。不納欠損とは市税などを滞納した人が支払えず時効となつたり、会社が倒産し支払えないなどなつた場合に適用され、それまでの滞納分を請求することができないことがあります。

市の担当者の責務は、倒産は予測できないとしても、3年なり5年なりの時効までに、できる限り不納を防ぐ必要があります。電気料金の滞納は勿論、きちんと支払うていれば他の市民との公平性を著しく損ねることにもなり、秩序を崩していくことにもつながります。

滞納者自身も生活が破綻することとなり、お子さんのいる家庭では、自暴自棄となつて、子どもたちが暴力を受けたり、DVを引き起こす要因にもなります。

今回は、保育費、市営住宅、公営住宅の収入を減らすことになるので、市税や国保税の不納の全容を分析を図りながら、滞納整理をしていくことを副市長は議会に対して約束をしました。

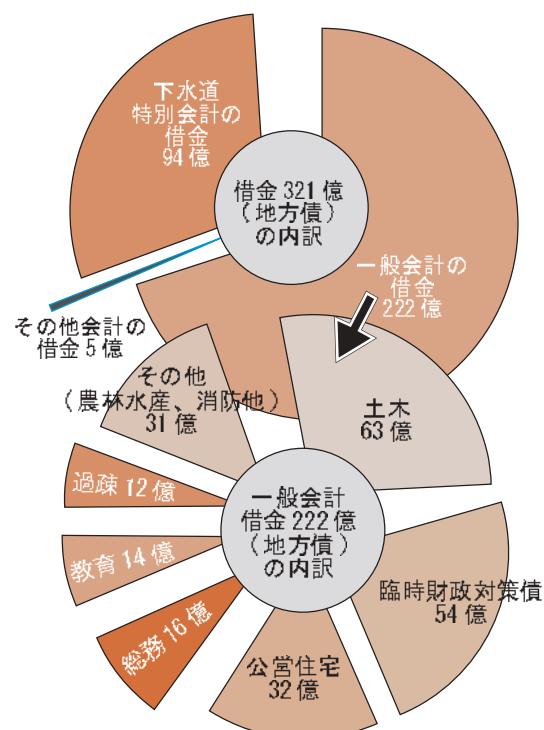
**基金(貯金)は約60億円**

基金は、24の基金の合計が約49億円。そして災害などの時に積み上げている備蓄資金が約11億円で、合計約60億円の資金を有しています。

(一部基金は5/31現在高で計算しています。)

**地方債(借金)は約321億円**

地方債いわゆる借金は、一般会計と特別会計の合計は321億円で前年に較べて1.2億円少なくなっていて、費目別に見ると下がっている費目が多いのですが、土木で3.9億円、臨時財政対策債で4.4億円増加となっています。

**決算結果について**

平成二十三年度は選挙の年でもあり、いわゆる骨格予算を組んで、選挙後に補正をもつて政策予算を付けていくというのが通例です。当初予算では三億八千万円足りないという状況で、基金などの取り崩しで収支のバランスをとつてスタートしました。特にこの年は三月十一日の東日本大震災がありましたので、本市もホタテ漁業に影響が出で復旧、復興事業を行いましたし、物産館の建設などの産業振興にも力を入れ、さらには日赤病院への二億円の支援もありました。

決算では、最終的に足りなかつた財源の取り崩しもなく、五億七百万円の黒字となりました。行政側の説明では歳出の徹底した削減をした結果とのことでした。が、国や道の有利な資金を引き出しながら、前向きに事業を進めてきた結果が大きいのではと思ひます。それによって、地方債の借入額が償還額を上回るという事態を招いたのですが、交付税措置される有利な地方債を活用したことや思つていた以上に基金の積み増しが出来たことは評価に値すると受け止めています。またその黒字分があつたために、今年度で国民健康保険会計九年分の累積赤字(四億六千万円)を埋めることができました。しかし、一般・特別あわせて借金の総額は三二億円ありますので、今後も財政規律を守る運営が不可欠です。

お知らせ  
**information**

● **議会を傍聴しましょう**

次回の定例会は、12月4日から開催され、一般質問は12月10日と11日を予定しています。日程など詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

● **会議録の検索をご利用ください**

議会のホームページから『会議録検索システム』をご利用いただけます。

新聞報道などではわからない実際の議論を検索できます。

● **写真募集**

伊達市議会広報誌「みんなの市議会」では表紙の写真を募集しています。

詳しくは議会事務局へお問合せください。

Tel 0142-23-3331 (内線 492・493)

ホームページは <http://www.city.date.hokkaido.jp/gikai/index.html>

人間誰しも、健康で長生きしたいと願うのは世の常です。年をとれば皆が一様に老けていくのかというと決してそんなことはありません。アメリカでの調査によると、六十五歳以上の高齢者を十年間調査してアルツハイマー病にかかった人の割合を調べた結果、生きがいを持って、人に働きかける活動を行っている人の発生率が非常に低かつたとのことです。

また、ボランティア活動が、人に「生きがい」を実感させ、結果として健康にも良い影響を与えると指摘しています。

「人の生きる力を引き出した分だけ、自分の生きる力も増していく」という言葉を聞きます。他者のために生きる人は自身の生命力を強めていくことができるといいます。

ともに住みよい街づくりを進めていくためにも、高齢者のキャリアを生かし活躍できる環境を整えて行くことも重要なと考えます。

原見 正信

前伊達市議会議長 館市弘太氏が去る八月一日に逝去されました。

館市氏は、平成七年の初当選以来五期十七年にわたり市議会議員として活躍され、文教厚生常任委員長をはじめ数々の要職を歴任されました。特に平成十九年には副議長を、平成二十三年には議長を務められ市政発展に尽力されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



伊達市議会議員

館市弘太氏  
(七十歳)



**計報**

● ● ● ● ● **お詫びと訂正** ● ● ● ● ●

「みんなの市議会」第68号の表紙において、次のような記載誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 河合俊一さん (正) 川合俊一さん  
(誤) 吉原和子さん (正) 吉原知子さん

**編集後記**

九月定例会のあと、市内の敬老会に参加する機会があった。本年、厚生労働省は全国の百歳以上の高齢者が初めて五万人を超えたと発表しました。さらに、いわゆる“団塊の世代”が六十五歳を迎えた年であり、日本社会の高齢化が一段と加速しています。



人間誰しも、健康で長生きしたいと願うのは世の常です。年をとれば皆が一様に老けていくのかというと決してそんなことはありません。アメリカでの調査によると、六十五歳以上の高齢者を十年間調査してアルツハイマー病にかかった人の割合を調べた結果、生きがいを持って、人に働きかける活動を行っている人の発生率が非常に低かつたとのことです。

また、ボランティア活動が、人に「生きがい」を実感させ、結果として健康にも良い影響を与えると指摘しています。

「人の生きる力を引き出した分だけ、自分の生きる力も増していく」という言葉を聞きます。他者のために生きる人は自身の生命力を強めていくことができるといいます。

ともに住みよい街づくりを進めていくためにも、高齢者のキャリアを生かし活躍できる環境を整えて行くことも重要なと考えます。

**広報特別委員会**  
(8人)

委員長 吉野 英雄	副委員長 辻浦 義浩
委 員 菊地清一郎	犬塚 貴敬 小久保重孝 国本 一夫
原見 正信	小泉 勇一